

2024年3月期第2四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 通信計測の受注がQ2に大きく伸びているが、その理由とQ3以降の見込みについて教えてほしい。

A1: Q2の受注は、Q1からの延伸分の取り込みとモバイル関連の大口案件がありました。Q3以降については、不透明な状況が継続するものの、5G利活用市場の拡大やデータセンター関連の測定需要増加等を期待して、期初計画（年間740億円）を変更しておりません。

Q2: 通信計測の利益率がQ1から大きく改善しているが、その理由と、Q3以降の見込みを教えてください。

A2: Q1と比較して売上の回復とプロダクトミックスの改善（モバイルの売上比率増加）、およびコストコントロールの徹底により、利益率が改善しました。Q3以降につきましても、売上拡大とコストコントロールの継続に取り組み、利益率の改善を図ります。

Q3: 6Gに向けた市場の状況を教えてください。

A3: テラヘルツ帯で動くアンプやフィルタの基礎研究用にVNAなどの測定器の引き合いが増加しています。

Q4: ネットワーク・インフラで、データセンターが好調とのことだが、今後の見通しについてどのようにみているのか？

A4: ネットワーク・インフラの中の光デジタル市場は、生成AIの普及やグリーンデータセンター需要などを背景に伸びていますが、従前と同様に安定的に成長することを期待しています。

Q5: 5Gの利活用市場で変化の兆しはあるか？

A5: RedCap用のチップセットやモジュールの開発測定需要が高まっています。今後それらを搭載するIoT機器の試験需要も期待できます。